

～ ノロウイルスの二次感染防止のために ～

呉市保健所

ノロウイルスは感染力が非常に強く、100個以下という少量で人に感染します。患者のふん便やおう吐物には1グラムあたり100万～10億個もの大量のウイルスが含まれます。





- 主な症状 感染後24～48時間で、おう吐・発熱・腹痛・下痢
通常3日以内に回復しますが、ウイルスは感染後1週間程度ふん便に排泄され続けます。
- 感染経路 感染者のふん便・おう吐物を介して、他の人へ感染します。
ノロウイルスに汚染された食品を食べて感染します。

手洗いの励行


- ・「外出後」「トイレの後」「調理・食事の前」「おう吐物・ふん便を処理した後」は、石けんと流水でよく手を洗ってください。
- ・タオルは共用せず、ペーパータオルか個人用タオルを利用してください。





消毒

方法 	他の微生物に比べると熱に強く、85℃で1分以上の加熱が必要です。 逆性石けん、アルコールの消毒効果は十分ではありません。 塩素系消毒液の次亜塩素酸ナトリウムは効果があります。
場所 	人が直接手を触れる場所は、汚染されている可能性があります。 子どもは身の回りの物を口にするので二次感染の原因となります。 (例) 手すり、ドアノブ、蛇口、車いすの押し手、おもちゃ など
衣類・リネン 	衣類をビニール袋に入れ、周囲を汚染しないようにします。 付着した便やおう吐物を取り除き、85℃で1分以上熱湯消毒するか、 0.02%次亜塩素酸ナトリウムに30～60分間浸した後、他のものと分けて最後に洗濯します。
入浴 	患者の入浴は一番最後とし、浴槽につかる前は、お尻をよく洗います。 浴槽水は毎日換えて、浴槽・床・洗面器・いす等も掃除します。 タオルやバスタオルの共用はやめましょう。

汚物処理

- 準備する物 使い捨て手袋、マスク、エプロン、ペーパータオル、ビニール袋、次亜塩素酸ナトリウム、専用バケツ など 
- 換気 処理時とその後は、室内にウイルスを滞留させないように、大きく窓を開け換気してください。換気設備がある場合は運転してください。

<p>便</p> 	<p>便が手に付く時は、使い捨ての手袋を使いましょう。 紙おむつは、トイレで便を落とした後、ビニール袋に密封し捨てます。 トイレを便で汚したら、その部分を塩素系の消毒液で消毒します。 排便のお世話の後は、他の場所に触れず、手洗いとうがいをします。</p>
<p>おう吐物</p> 	<p>ペーパータオルで外側から内側に向けて折り込みながら静かに拭き取ります。(同一面でこすると汚染を広げるので注意！) ペーパータオルはすぐにビニール袋に入れ密封して捨てます。(ビニール袋内に0.1%次亜塩素酸ナトリウムを染み込む程度入れると良い。) 汚染された床とその周囲を、0.1%次亜塩素酸ナトリウムを染み込ませたペーパータオルで10分程度覆います。 手袋を裏返してはずして、廃棄した後、手洗いとうがいをします。 処理後48時間は感染の有無に注意してください。</p>

●0.02%次亜塩素酸ナトリウムの作り方 (調理器具・衣類・トイレの消毒)

- ・原液濃度 1%の場合 → 「原液120ミリリットル」 + 「水 6リットル」
- ・原液濃度 6%の場合 → 「原液 20ミリリットル」 + 「水 6リットル」
- ・原液濃度 12%の場合 → 「原液 10ミリリットル」 + 「水 6リットル」

●0.1%次亜塩素酸ナトリウムの作り方 (便・おう吐物の処理)

- ・原液濃度 1%の場合 → 「原液660ミリリットル」 + 「水 6リットル」
- ・原液濃度 6%の場合 → 「原液100ミリリットル」 + 「水 6リットル」
- ・原液濃度 12%の場合 → 「原液 50ミリリットル」 + 「水 6リットル」

食品の取扱い

調理器具・シンク・ふきん・スポンジなどは、熱湯消毒(85℃1分以上)又は0.02%次亜塩素酸ナトリウムで消毒します。

生ものや和え物は避け、十分に加熱した食品のみとしてください。

